

当初の年間指導計画（横浜版学習指導要領で示した年間単元配列表）

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
第4学年	体づくり運動③（ほぐし③）	器械運動⑥（鉄棒）	走・跳の運動⑮（かけっこ・リレー、小型ハードル、高跳び）	保健④	浮く・泳ぐ運動⑩	表現運動⑩（表現・リズムダンス）	ゲーム⑫（ベースボール型）	器械運動⑦（マット）	ゲーム⑧（ゴール型）	体づくり運動（多様な動きをつくる運動）⑫	器械運動⑧（跳び箱）	ゲーム⑩（ネット型）

再編成後の年間指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
第4学年	各学校からの課題に応じた家庭学習		体づくり運動⑩（ほぐし③） （移動・バランス・組み合わせ⑦）		水泳運動①	保健④（体の発育・発達）	表現運動⑨（表現・リズムダンス）	陸上運⑭（短距離走・リレー、ハードル走、幅跳び）	器械運動⑤（鉄棒運動）	ゲーム⑧（ネット型ゲーム）	器械運動⑦（跳び箱）	体づくり運動（用具・移動）③	ゲーム⑩（ベースボール型ゲーム）	器械運動⑥（マット運動）	ゲーム⑦（ゴール型ゲーム）

※基本的に水泳の実技は扱わない。水泳の心得、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方について指導することとした。

運動と健康との関連について具体的な考えをもてるよう配慮する

「器具や用具を共用する必要がある単元は、実施をなるべく後に回すよう配慮した。」

領域及び領域の内容		学習指導要領に示された内容				時数	
		内容の取扱い	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等	当初の予定（）は3年時の実施時数	再編成後
A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動	二学年にわたって指導すること（3学年、4学年の両方で実施）	○	○	○	3(6)	3
	イ 多様な動きをつくる運動		○	○	○	12(15)	10
B 器械運動	ア マット運動		○	○	○	7(9)	6
	イ 鉄棒運動		○	○	○	6(9)	5
	ウ 跳び箱運動		○	○	○	8(7)	7
C 走・跳の運動	ア かけっこ・リレー	児童の実態に応じて投の運動を加えて指導することができる	○	○	○	5(6)	4
	イ 小型ハードル走		○	○	○	5(6)	5
	ウ 幅跳び		○	○	○	5(0)	5
	エ 高跳び					0(6)	0
D 水泳運動	基本的に今年度は扱わない					10(10)	1
E ゲーム	ア ゴール型ゲーム	ゴール型はミニサッカーを、ネット型はソフトバレーボールを、ベースボール型はティーボールを主として取り扱うものとするが、これに替えてハンドボール、ラグビー、フラッグフットボールなどを指導することもできる	○	○	○	8(8)	7
	イ ネット型ゲーム		○	○	○	10(9)	8
	ウ ベースボール型ゲーム		○	○	○	12(0)	10
F 表現運動	ア 表現	学校や地域の実態に応じてフォークダンスを加えて指導することができる	○	○	○	5(5)	5
	イ リズムダンス		○	○	○	5(5)	4
G 保健	(1) 体の発育・発達	授業時数は2学年で8単位程度とすること	○	○	○	4(4)	4
						105	84

小学校学習指導要領 解説 体育編に「水泳運動系は生命にかかわることから、適切な水泳場の確保が困難で水泳運動系を扱えない場合でも、これらの心得については、必ず指導すること」とされていることから、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方についての理解も含めて指導することとした。